取扱説明書

DAYTONA corp.
S67535①/⑮

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

Spec Ultimate Power Unit LE MANS GT H.I.D バルブシステム "H7"	適応車種	商品NO.
	スタンダードバルブ（4300K） シルキーホワイトバルブ（6700K）	67535 67536

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
高温注意	表記の注意を告げるものです。	分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
感電注意	表記の注意を告げるものです。		

⚠注意

実施

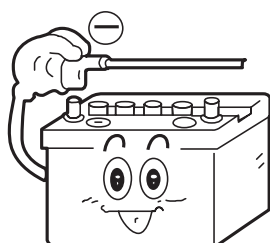
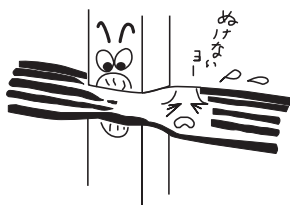
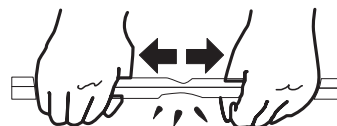
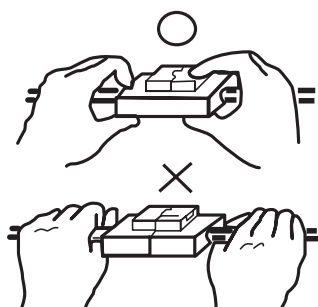
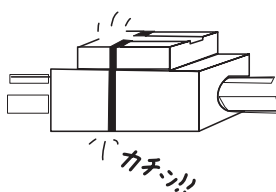
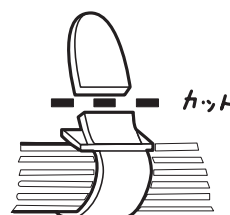
- 取り付けの際は安全のために信頼のおける販売店にて取り付けを行ってください。
- 使用するご本人以外の方が取り付けを行う場合、取り付けされる方(販売店も含む)は取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、危険箇所(バリ、突起物)無き事を確認の上、必要事項を説明し本説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- 取扱説明書は、いつでも読めるように大切に保管してください。
- 取り付け作業を行う前に必ず本説明書をよく読み頂き、箱から部品を全て取り出し各部品の状態を点検してください。H.I.D バルブ、インバーター、イグナイターなどに損傷がある場合や落下させた場合は直ちに作業を中止してください。

 法令違反	・ヘッドライトが２灯以上ある車両で HI ビームを点灯した際に LO ビーム側が消灯する車両には本商品を装着することが出来ません。 ※HI ビームを点灯した際に LO ビームが点灯し続けるように変更できれば装着可能です。 NG 例･･･ＭＡＸＡＭ，T-MAX など
 その他	・この商品は H4 バルブもしくは H4 互換のバルブを用いたヘッドライト専用です。 ・本商品は通常の H.I.D システムやハロゲンランプより明るさが増すため色温度が実際の表記色温度より下がる傾向があります ※「4300K→4050K（スタンダード）」,「6700K→5700K（シルキーホワイト）」数値は当社比によるもので、ケルビン値はヘッドライトやバルブタイプによって変わる場合があります。 ・本商品は通常の H.I.D システムやハロゲンランプより明るさが増すため取り付け後は必ず光軸調整を行ってください。また故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。 ・本商品は通常の H.I.D システムやハロゲンランプより明るさが増すため車両によっては灯具にくもりが出る場合があります。 ・本商品は通常の H.I.D システムやハロゲンランプより明るさが増すため一部車両の灯具との組み合わせでは前照灯の照度範囲が車検基準を超え適合しない場合があります。 ・この商品は予告無しに仕様または価格を変更する場合があります。また、本文中に紹介している商品についても、予告無しに仕様または価格を変更する場合があります。予めご了承ください。
 感電注意	・この H.I.D システムは高電圧（約２万ボルト）を発生します。システムの作動中にインバーター及びイグナイターには手を触れないでください。また、H.I.D バルブをイグナイターに接続しない状態でヘッドライトを点灯状態にすると接続端子部に高電圧が発生し感電する恐れがあります。※この状態で消灯させても高電圧が残留しており感電する危険性があります。
 高温注意	・ヘッドライト点灯時及び消灯直後はヘッドライトや点灯装置（インバーター、イグナイター、バルブ）が大変高温になり火傷をする危険性がありますので絶対に手や肌などで触れないでください。また直接水を掛けたりするとレンズ割れの原因になります。 ※洗車やヘッドライト付近に触れる場合は十分に冷却した後に作業を行ってください。
 禁止	・ランプ点灯時は光を直視しないでください。目の痛みや視力障害の原因となります。
 分解禁止	・本商品は精密な電子回路の集合体です。システムが作動中高電圧を発生しますのでインバーター、イグナイター、H.I.D バルブ、配線などは絶対に改造・分解は行わないでください。感電、その他故障、火災などの原因となります。

取り付け前に必ずお読みください！

<table>
<tr>
<td>●電装品取り付けの際には必ずバッテリーのマイナス端子を外すこと。
※ショートの防止。
</td>
<td>●部品の取り付けや外した部品を取り付ける際は裏側のハーネスを引っ掛けたり噛み込んだりしないこと。
※ハーネスの断線を防止する。
</td>
<td>●車両のハーネスを持って強く引っ張らないこと。
※コネクター外れや断線を防止する。
</td>
</tr>
<tr>
<td>●車両のコネクターを外す際はハーネスを引っ張らずコネクター本体を持ってロックを外すこと。
※ハーネスの断線を防止する。
</td>
<td>●コネクターやターミナル端子は確実に接続すること。
※接続不良を起こします。

</td>
<td>●ハーネスは車両のハーネスに沿って結束バンドでまとめたりクランプを使用してブラブラさせないこと。
※H.I.Dバルブとイグナイターの白線・黒線は絶対に結束しないでください。

</td>
</tr>
</table>

＜使用上のご注意＞

1．ヘッドライトの消灯・点灯操作は頻繁に行わないでください。

消灯・点灯を連続して繰り返すことにより①**H.I.D バルブ**内部の電極が磨耗し、短寿命や不点灯などの原因となります。ヘッドライトスイッチの頻繁な操作は控えてください。

※ヘッドライトスイッチの消灯／点灯を短い間隔で繰り返すと点灯しなくなる場合があります。これは③インバーターの安全装置が作動して起こるものであり故障ではありません。この症状がでた場合は 10 秒ほど間を置いてから再点灯を行ってください。

2．ヘッドライトを減光させるようなアフターパーツを装着されている場合、この商品を正常に動作させることができません。

ヘッドライトを減光させる機能はギヤがニュートラルに入るとヘッドライト電源に抵抗を加え供給電圧を下げてしまうタイプがほとんどです。ライトへの供給電圧が低下するとH.I.Dを正常に起動することが出来ずフラッシング（点滅を繰り返す。）を起こして点灯させることが出来ません。システム故障の原因となりますので併用することは出来ません。また、バッテリー電圧が下がっていますと同様にフラッシングが起こりますのでバッテリー電圧と比重のチェックは常に行ってください。

3．電流・電圧センサーの機能が搭載されている盗難抑止警報機が誤作動する場合があります。

H.I.D は点灯初期に昇圧→放電を行います。そのため車両全体の電装に対する電圧が一時的に急激に変化する場合があります。その際に盗難抑止警報機が異常と誤認し、作動する場合があります。このような場合は盗難抑止警報機をキャンセルするか、電流・電圧センサー機能が無い盗難抑止警報機にお取替えください。

4．下記の症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。

点灯直後や再点灯時に約１０～２０秒間、赤みを帯びた光や青白い光など通常の点灯光にならないことがあります。③インバーターの昇圧差や個体差による現象ですので製品不良ではありません。ご理解の上ご使用ください。

5．ご使用中にバルブ不点灯の状態になった場合、下記手順の簡易点検を行ってください。

１）速やかに車両を安全な場所へ移動してください。

２）メインスイッチをＯＦＦにし約１０秒後に再度メインスイッチをＯＮにするかまたはエンジンを始動させ、ヘッドライトが点灯するか点検してください。

３）上記作業を行っても症状が改善されない場合は約１０～２０分間メインスイッチをＯＦＦにしたままにし、その後再びヘッドライトが点灯するか点検してください。

※上記点検を行って正常に戻る場合は③インバーターの安全回路が作動して発生する症状なのでそのままご使用されても問題ありません。もしも症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合はご購入もしくは取り付けをされた販売店へご相談ください。

6．H.I.D バルブシステム本体の特性によってノイズが発生します。車両によってはノイズの影響が出る場合があります。

点灯時に高電圧を発生させるため、H.I.D システムからノイズが発生します。**車両によっては電子機器などが影響を受けて誤作動を起こしたり、デジタル時計がリセットされたりする場合があります。**このような影響が見られた場合そのまま使用すると電子機器が故障しますので⑪アルミテープをメーター裏面や ECU 表面に貼るなどして H.I.D システムからの電子機器に対するノイズの影響を遮断したり、②イグナイターの配置を電子機器から遠ざけた位置に変更するなどしてノイズの影響が出ないように対応する必要があります。このノイズ発生は **H.I.D バルブシステムの構造上の特性ですので、商品不良ではございません。また同一車種に同じ取り付け方法で取り付けた場合も影響の出る車両と出ない車両が存在します。**

※このような電子機器への影響があることについて、予めご了承ください。

＜取り扱い上のご注意＞

装着作業を行う際は以下の項目を必ずお守りください。

※以下の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関しましてはデイトナは製品保証について一切の責任を負いません。予めご了承ください。

１．取り付け作業開始前に必ず動作確認（点灯テスト）を行ってください。

バルブケースを見開封状態で②イグナイター・③インバーターを接続し点灯確認を行ってください。

※バルブケース開封後のバルブ不点灯は製品保証することは出来ません。

※点灯テストは①**H.I.D バルブ点検テスト要領**の項目（７ページ）をご参照ください。

2．①H.I.D バルブの装着はヘッドライトを取り外して行ってください。

①H.I.D バルブはとてもデリケートです。装着作業を行う際は、ご面倒ではありますが必ずヘッドライトまたはヘッドライトＡＳＳＹを車両より取り外し慎重に作業を行ってください。

3．①H.I.D バルブのガラス面には触れないでください。

バルブ類全てにおいての注意点です。触れた際に付く油分を嫌いますので触れてしまった際はアルコールまたはパーツクリーナーを含ませた清潔なウェスで完全に拭き取ってください。

4．②イグナイター・③インバーターの取り扱いは慎重に行ってください。

精密な電子回路の集合体ですので落としたり配線を引っ張ったりしないでください。システムが作動していると高電圧が発生しており大変危険です。装着・点検作業でシステム作動中のハーネス類には触れないでください。また設置場所は雨や水ができるだけかかりにくい所を選び脱落することがないように確実に固定してください。

5．③インバーターの取り付け部分は⑤スポンジなどを挟むようにしてフレームなどに直接接触させないように取り付けてください。

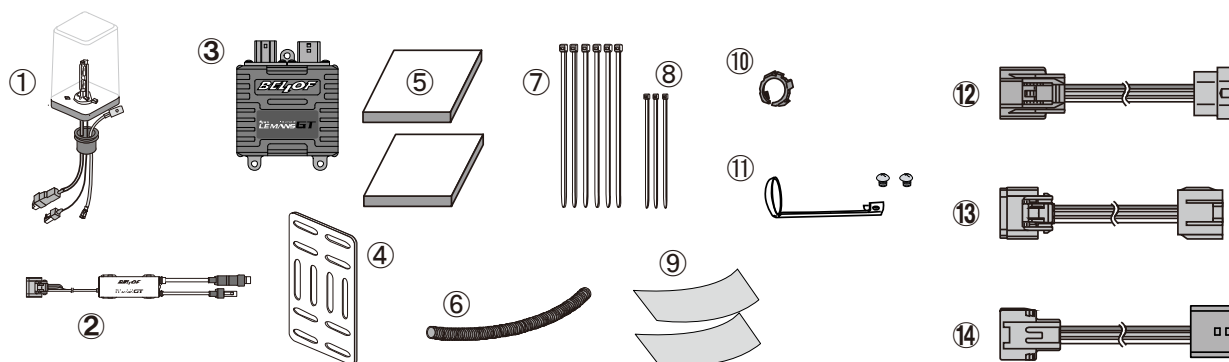
フレームなどの金属部分と③インバーターを直接接触させて起動させると、故障の原因になる場合があります。

6．車両のヘッドライトヒューズ容量を確認してください。

システム起動時に電力を必要としますので車両側のヘッドライト系統のヒューズが１５Ａ未満の場合は１５Ａヒューズと交換してください。標準サイズの１５Ａヒューズは別売り「フィッティングハーネス」に付属しています。

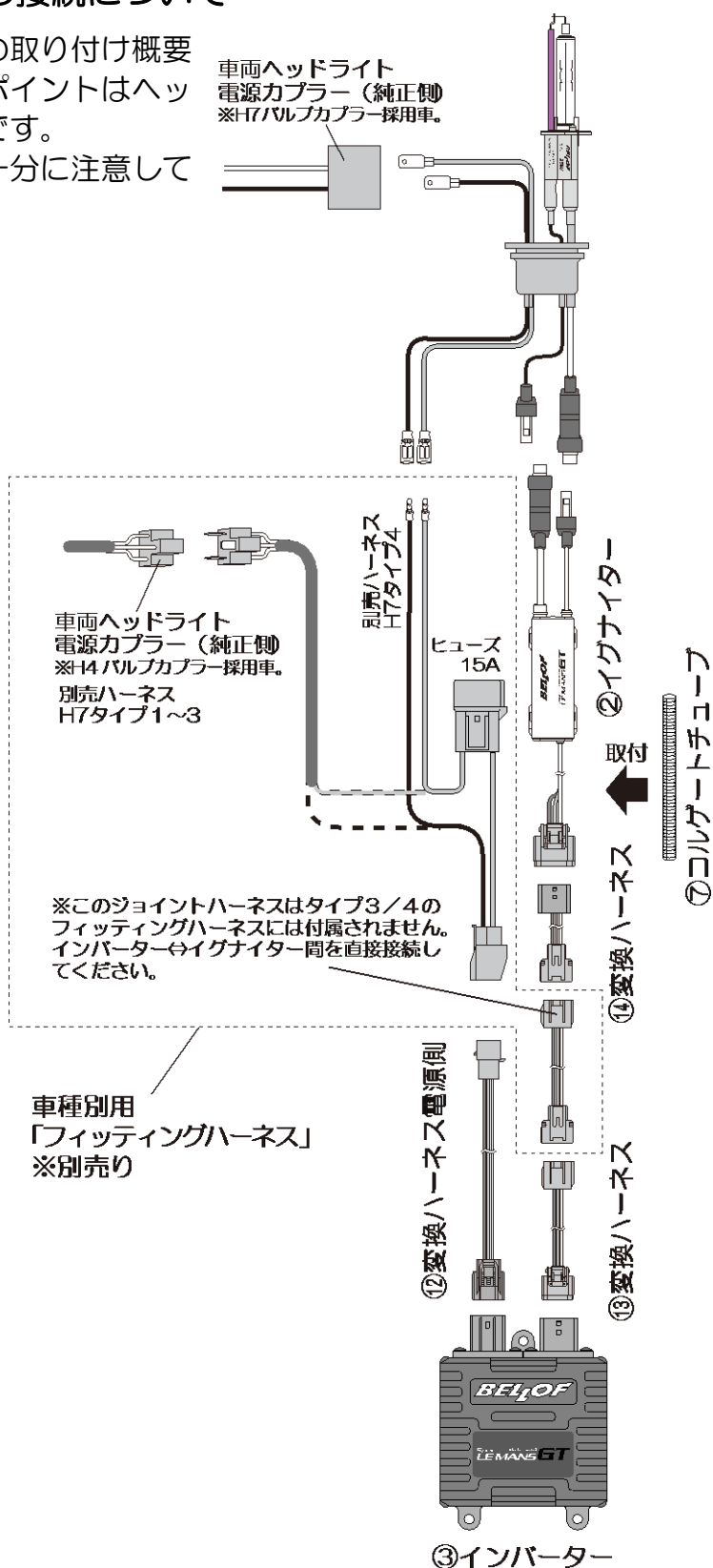
本商品の特徴

- 本商品は SPEC-05 に対して１５０％の明るさを実現したハイパワーH.I.D システムです。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	H.I.D バルブ	H7	1	⑧	結束バンド	150mm	3
②	イグナイター	アルミステッカー巻	1	⑨	アルミテープ	120x50	2
③	インバーター	青色塗装	1	⑩	H7 バルブアダプター		1
④	フィッティングステー	汎用プレート	1	⑪	フード（ボルト x ２）		1
⑤	スポンジ	10x65x100	2	⑫	変換ハーネス電源側	200mm	1
⑥	コルゲートチューブ	350mm	1	⑬	変換ハーネスＡ	200mm	1
⑦	結束バンド	350mm	6	⑭	変換ハーネスＢ	200mm	1

配線の接続について

○取り付け作業を行う前にシステム全体の取り付け概要を理解してください。車両と接続するポイントはヘッドライトカプラーとバッテリー２箇所です。
○取り付けの際には取扱説明書に従って十分に注意して作業を行ってください。

●ご注意●

車両側のヘッドライト系統のヒューズが１５Ａ以上のものが使われているか必ず確認を行ってください。
※ヘッドライトヒューズが**１５Ａ未満の場合はヒューズを１５Ａから変更して点灯を行ってください。**

車両側ヒューズについて
H.I.D は２灯装着の場合、点灯初期に瞬間約１４～１５Ａの電流が流れます（突入電流）。
安定時（数秒～数 10 秒後）には電流が約６Ａ（３５Ｗｘ２灯）になりますが点灯の時、瞬間的に１５Ａを越える車両が極めてまれにですが存在します。そのため車両のライト系統のヒューズ（１５Ａ）が切れてしまう場合はヒューズを２０Ａのものに交換してください。

取付方法

点灯テスト手順

必ず行ってください。
このシステムは出荷前に振動／点灯試験を行っておりますが装着作業を行う前に必ず説明書の配線図を参照の上、点灯テストを行った後でバルブを開封し作業を行ってください。
※バルブケース開封前の点灯に関するトラブルについては商品不良として対処させていただきますが点灯テストを怠ってバルブケースを開封した場合、不点灯などの際は製品保証の対象外となる場合がありますので、必ず点灯テストを行ってください。

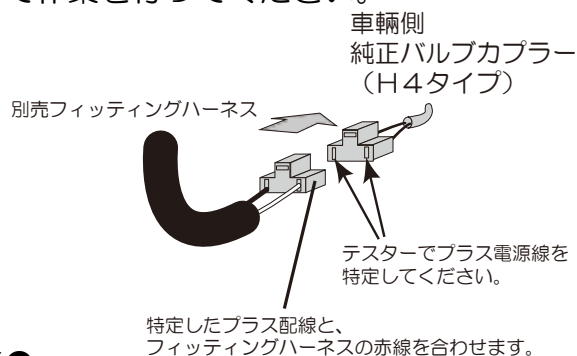
《点灯テスト手順》

1）①H.I.D バルブのバルブケースを開封せずに接続図に従って①H.I.D バルブ、②イグナイター、③インバーターと別売り「フィッティングハーネス」を接続します。

2）別売「フィッティングハーネス」の電源ハーネスの黒線（くわ型板端子付）をバッテリーのマイナス端子に仮付けします。次に電源ハーネスの赤線（ギボシ端子／オス）をバッテリーのプラスに接続します。

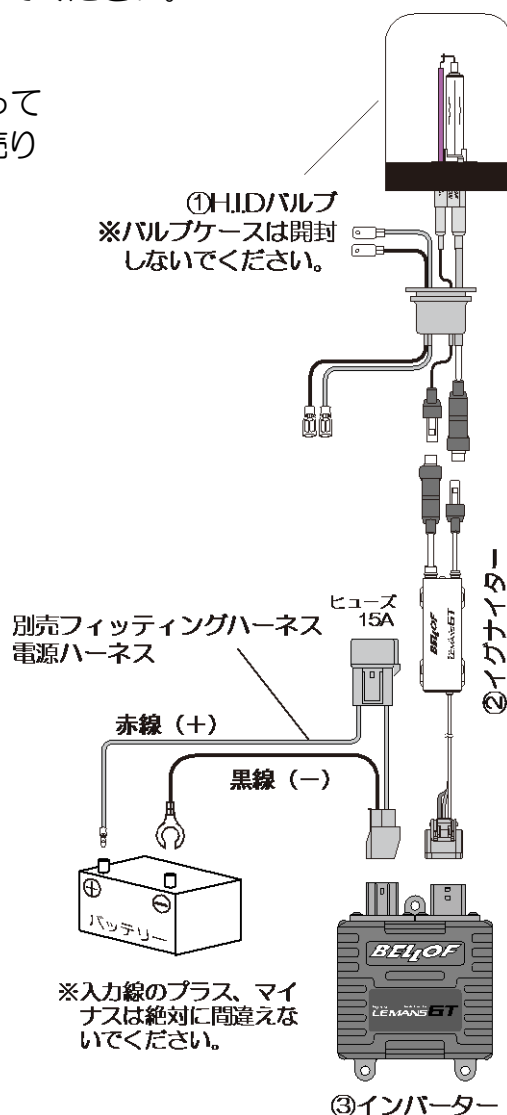
3）①H.I.D バルブが点灯します。

4）点灯が確認できれば点灯テストの作業は終了です。

※H7 バルブ車で純正バルブカプラーに H4 形状コネクター使用の車両は別売「フィッティングハーネス」の電源ハーネスを純正バルブカプラーにそのまま接続できます。その際、必ずテスターで純正側のプラス、マイナスを確認し電源ハーネスの赤線（プラス）と黒線（マイナス）へ確実につなげてください。※安易にコネクター形状の凹凸を合わせて接続しますと、電源線を逆接続してしまう場合がありますので十分に注意して作業を行ってください。

●ご注意●

◎電源接続の際、プラス（＋）・マイナス（－）を絶対に間違わないでください。

◎点灯テスト時間は１０秒以内で行ってください。
バルブケースが熱で変形する場合があります。

◎装着前の点灯テストを怠りバルブケースの封印を開封した場合、及び装着作業中に発生した破損などは製品保証の対象外となりますのでご了承ください。

取り付け手順

☆この商品はハロゲンバルブをH.I.D（放電管）バルブに換装できる画期的な商品であり、また点灯時に応じる高電圧のリーク防止について世界特許（PAT／NO.2600052）を取得しております。

●記載事項を守らなかったために発生した不具合については責任を負いかねますので予めご了承ください。

●このH.I.Dシステムは高電圧(約２万ボルト)を発生しますので取り扱い及び取り付けには十分に注意してください。

●この取り扱い説明書に明記されていない取り付け及び取り付け方法（改造など）は絶対に行わないでください。

●取り付けミスを出来るだけ避けるために取り付けはお買い求めの販売店などの専門の方にしていただけるようお奨めします。

●付属の①H.I.Dバルブはマウント部分をハロゲンバルブ規格の形状に設計しているため非常にデリケートにできております。絶対に衝撃を与えないでください。衝撃が加わるとバルブは直ぐに破損します。また付属の①H.I.Dバルブは出荷前に品質確認の上、封印されておりますが輸送途中での破損が無いか取り付け作業を行う前に付属の①H.I.Dバルブの点灯テストを行ってください。

※テスト方法は①H.I.Dバルブの点灯テスト手順（７ページ）を参考に必ず行ってください。

《ハロゲンバルブの取り外し》

１．車両よりヘッドランプASSYを外します。
※カウリング付車両のほとんどはアッパーカウルにヘッドランプ ASSY が取り付けられています。バックミラー・カウル連結ボルト・ヘッドランプハーネスなどを外しアッパーカウルごと車両より取り外します。詳しくは純正サービスマニュアルに従って慎重に行ってください。

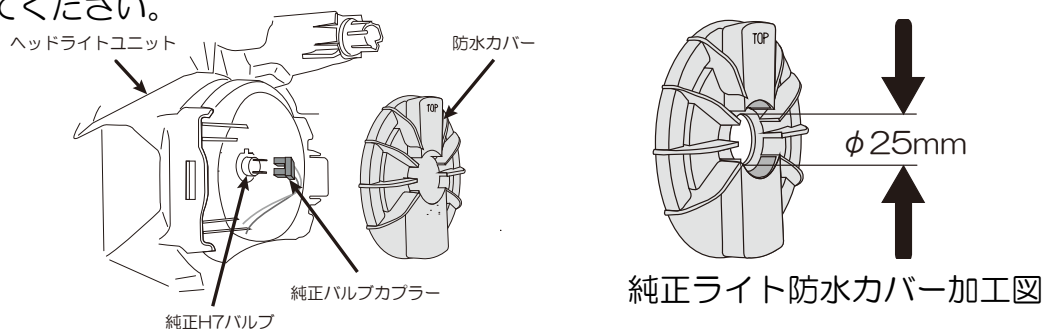
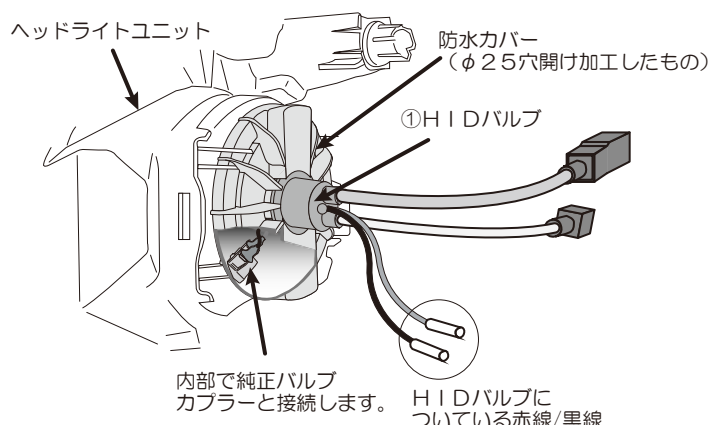
２．純正ヘッドランプの防水ゴムカバー（樹脂カバー）を外します。

３．純正ハロゲンバルブ固定用のストッパーを外し、純正ハロゲンバルブを取り外します。

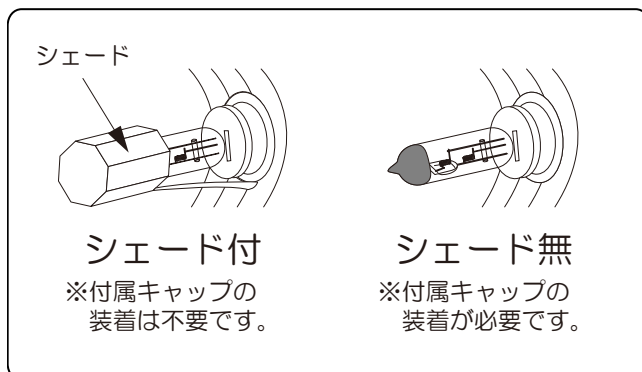
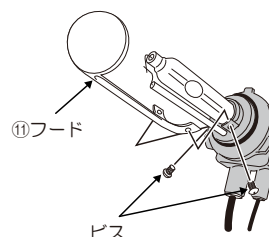
《純正防水カバーの加工》

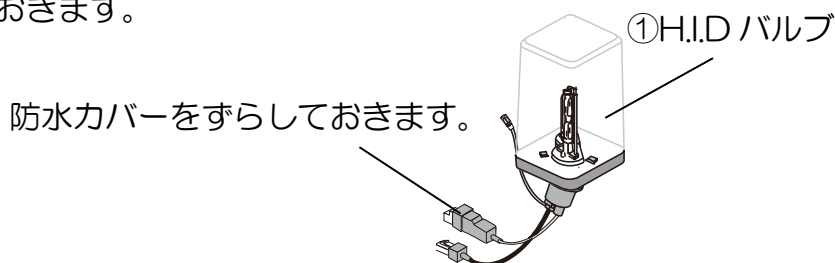
●一部のH7バルブ装着車両はバルブ後部がゴムまたは樹脂カバーでフタをしてあるので穴あけ加工が必要になります。

●ヘッドライトの防水カバーにΦ２５の丸穴を開けてください。カバーに開けた穴にH.I.Dバルブから出ている配線を通した後、バルブにセットされている防水ゴムキャップをカバー（丸穴を開けた物）に取り付けカバーと防水ゴムキャップの接合部にシール材などで防水処理を行ってください。

純正ライト防水カバー加工図

●取り付け状態は右図のイメージになります。

《散光防止用フード装着について》

●以下のタイプの車両の場合は散光防止用フードを取り付けてください。

マルチリフレクターの車両でシェード無しの場合
に使用します。（プロジェクターランプでは使用しません。）

《①H.I.D バルブの取り付け》

1．①H.I.D バルブのバルブケースの封印を破る前にバルブコネクターの防水カバーをずらしておきます。

2．①H.I.D バルブのハーネス付け根部を手でつかみバルブケースの封印テープを剥がすか破り①H.I.D バルブを取り出します。

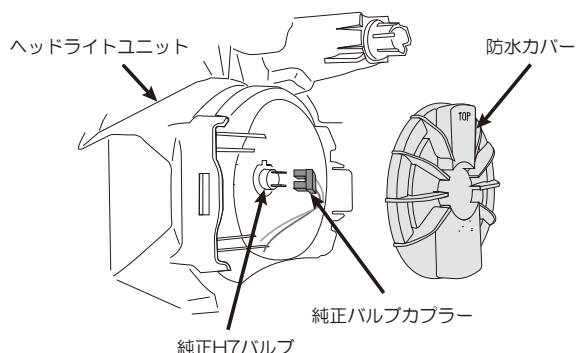
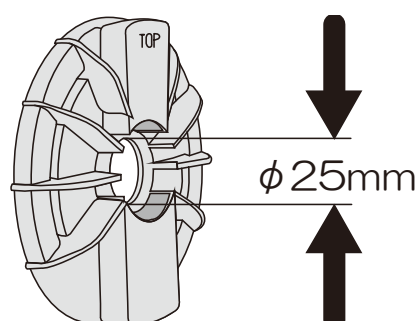
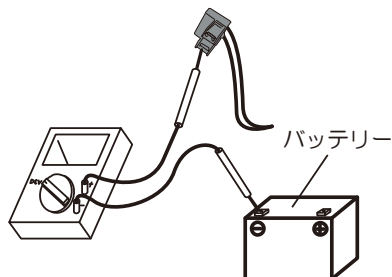
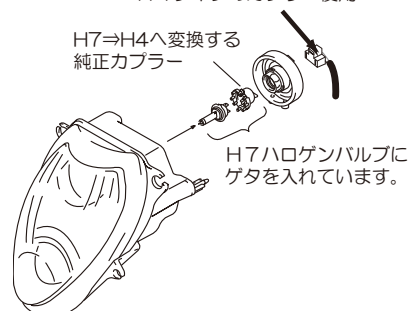
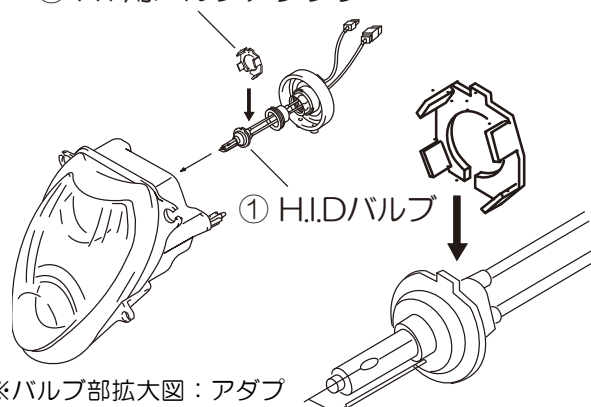
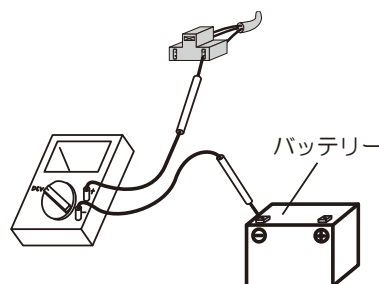
※①H.I.D バルブのガラス管には絶対に触れないでください。
※ガラス管先端部とバルブケースをぶつけないように注意して取り出してください。

3．①H.I.D バルブを純正ヘッドランプユニットに組み込みます。組み込みについては１０ページの「**バルブ取り扱い上の注意点**」を参考にして組み込んでください。

※①H.I.D バルブはとてもデリケートです。取り扱いには慎重に行ってください。

バルブ取り扱い上の注意点

H7 バルブはバルブソケットの仕様が２種類あります。

H7 バルブカプラー採用車

H7 用のバルブカプラーを使用する車両の場合、そのほとんどが防水の樹脂カバーやゴムキャップなどでバルブ後部にフタをしています。その場合は樹脂カバーにΦ２５の穴開け加工をする必要があります。
※バルブの真後ろあたりの位置に穴開け加工をします。（下図参照）

純正バルブカプラーの２つの配線をテスターでプラス側を調べます。

H7⇒H4 バルブ変換カプラー採用車

H4 形状のバルブカプラーを使用している車両の場合、H.I.D 装着時にバルブ固定用の金具が緩い場合があります。（※純正が H7 バルブにゲタをして H4 形状のカプラーに変換しているため H.I.D を取り付けた際にゲタの分の隙間ができてしまうためです。）
①H.I.D バルブの取り付け時にバルブがぐらつく場合は⑩H7 バルブアダプターを使用し①H.I.D バルブを固定します。（下図参照。）

純正バルブカプラーの２つの配線をテスターでプラス側を調べます。

ヘッドライトを点灯状態にしてテスターのマイナス側をボディーアースまたはバッテリーのマイナス端子へつなげテスターのプラス側をコネクター端子のどちらかに当てて<u>１０～１５V</u>の電圧が来ているプラスハーネスを特定します。後で行う結線作業時の準備としてマーキングまたはメモを書くなどし区別してください。

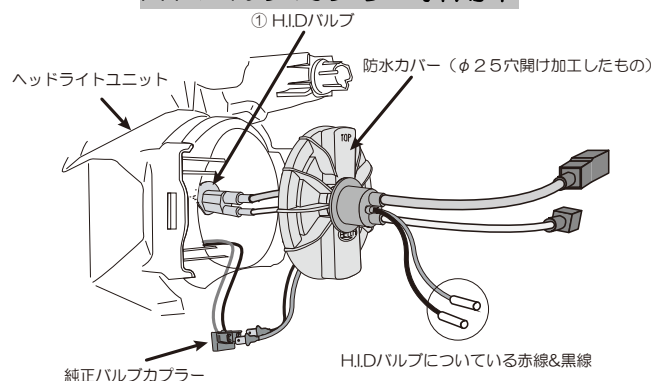
1．①H.I.D バルブの取り付けの際は必ずバルブのカプラーまたは端子部分をつかんで接続してください。

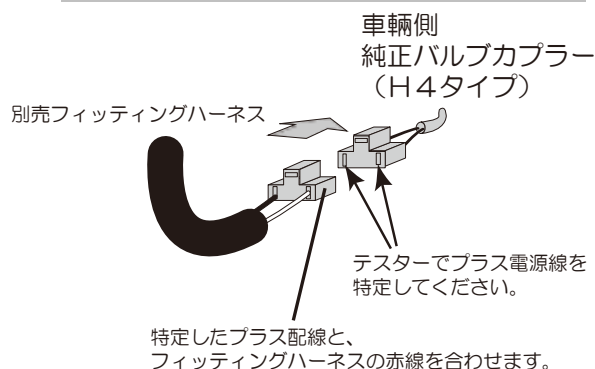
2．①H.I.D バルブについている赤線と黒線（平端子がついている配線）は使用する車両としない車両があります。純正バルブコネクターが H4 タイプの場合は使用しませんので、そのまま絶縁テープなどで処理するか切断して引き抜いてください。

《バルブ電源線の接続》

純正バルブカプラーの形状から下記の２通りの接続方法を選んでください。

H7 バルブカプラー採用車

① H.I.Dバルブ
防水カバー（φ２５穴開け加工したもの）
ヘッドライトユニット
純正バルブカプラー
H.I.Dバルブについている赤線&黒線

特定したプラス配線には赤配線の平端子を接続します。マイナス配線には黒配線の平端子を接続します。
※車種によって黒配線は使用せずに別売フィッティングハーネス側でアースする場合もあります。フィッティングハーネスの取扱説明書を参照ください。

H7⇒H4 バルブ変換カプラー採用車

車両のカプラーが H4 タイプを使用している場合は適合のフィッティングハーネスを車体側の H4 カプラーに差し込みます。
※この接続方法の場合には①H.I.D バルブについている赤線と黒線（平端子付）は使用しません。絶縁処理をする切断して抜いてください。

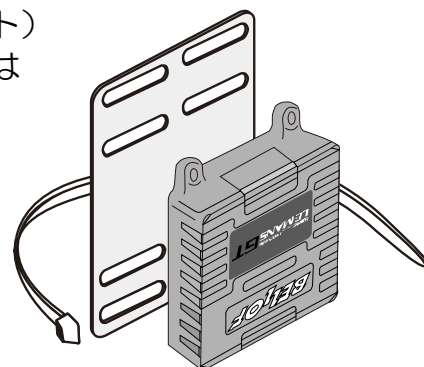
接続にあたっては１０ページを確認した上でプラス側配線に赤線（電源線）が確実に接続されていることを確認してください。接続後はハーネステープなどで防水処理を行ってください。

《②イグナイター・③インバーターの取り付け》

●この２つの部品の取り付けに関しましては別売「フィッティングハーネス」の取扱説明書の方に詳しく掲載してあります。取り付け車種により各部品の設置場所が変わりますので設置時の注意点のみまとめてあります。

1. ②イグナイターは縦・横・斜め・逆さに取り付けても作動に影響ありません。
2. ②イグナイターの設置場所は取り付けスペースの関係上、どうしてもハンドル回りの取り付けになります。ハンドルを左右に切り返した時に各ケーブル類が②イグナイター本体に引っ掛からないように取り付け、各ケーブル類に無理な力が掛からないよう⑧結束バンドなどでまとめてください。
   またシステム起動時（ほんの一瞬）に②イグナイター⇒①H.I.D バルブの間には約２万ボルトの高電圧が掛かります。手の届くところですので絶対に触れないようご注意ください。
3. **純正メーターユニットにデジタル計器が組み込まれている車両へ取り付ける際には H.I.D が発するノイズの影響を受ける場合があります。デジタル計器からできるだけ離して設置するようにしてください。また⑨アルミテープを②イグナイター近くにある電子機器（メーター裏面、ECU など）に貼ってノイズを遮断してください。**
4. ③インバーターは電子部品を使用した精密部品の集合体です。車両への取り付けはガタツキが無いよう確実に固定してください。

   取り付け支援用に④フィッティングステー（汎用プレート）を付属しております。使用方法、取り付け方法については特に指定はありません。③インバーターと固定などに使用してください。

   特にモーターサイクルでは振動が出易いことから③インバーター自体に重量があるため取り付け時にはフレームなどに接触するところには⑤スポンジを適当な形に切って間に貼り付け⑦結束バンドで固定をしてください。

④フィッティングステー
（汎用プレート）

5. ③インバーターの作動温度領域は－３０～＋８５℃以内です。極端に温度が上昇するような場所への取り付けはしないでください。

⚠注意

●純正バルブカプラーとシステム起動信号線の接続部分はハーネステープなどで絶縁処理をしてください。（絶縁が不完全の場合、ショートし破損の原因となります。）

●電源線の接続の際にプラスとマイナスは絶対に逆に接続しないでください。万が一、逆に接続してしまった場合やシステムが作動しない場合は直ちに作業を中止してください。（この場合、システム内部が破損している可能性が考えられますので絶対にそのまま再使用しないでください。）
逆接続したことによる製品の動作不良は保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●トラブルシューティング●

H.I.D バルブがうまく点灯しない場合は以下の点を確認してください。

状態	原因	対応
点灯しない	ヘッドライトスイッチがOFF になっている。（スイッチ装備の車両）	ヘッドライトスイッチをON にしてください。
	各コネクターの接続不良。	全てのコネクターがしっかり接続されているか確認してください。
	アース不良 アースがうまく落ちていない場合、点灯しません。	フレームアースなどで塗装面の上からアースしている場合、塗装をはがすかバッテリーのマイナス端子へ直接アースしてください。バッテリー端子以外の場所からアースする場合は必ずバッテリーマイナス端子との間の抵抗をテスターで測定し抵抗値０．５Ω以下の場所からアースを取るようにしてください。
	車両側ハーネス、スイッチの接点不良。	ヘッドライト電源がハンドルのスイッチハウジング経由でバルブカプラーに来ている場合、スイッチハウジング内の端子汚れなどの影響で入力電圧が正しく入力されない場合が極まれに起こります。ヘッドライトカプラーまで正常に電圧が来ていない場合は接点の状態も点検してください。
	ヒューズ切れ。	H.I.D は特正上、点灯直後の数秒間は約 70～75W の電力を消費します。約１０秒後には 35W で安定します。２灯装着時の点灯直後は消費電力がさらに高くなっておりテール＆ブレーキランプなどその他の消費で車両側の灯火類系統のヒューズが飛ぶ場合があります。その際は２０A のヒューズに変更してください。
フラッシング	**バッテリー電圧が低い** バッテリー電圧が低い場合には点灯させるだけの電圧が得られないために点灯状態にたどりつけずフラッシング（点滅を繰り返す。）を起こします。	バッテリー電圧を点検し低下している場合は充電してください。バッテリー容量の小さい車両では特に影響を受けやすいため、こまめに点検してください。また車両によってはバッテリー容量自体が小さいためエンジン始動前にフラッシングする場合もありますがエンジンを始動して回転を少し上げると正常点灯するのであれば故障ではありません。バッテリー充電を行うか新しいバッテリーに交換してください。
	アース不良 アースがうまく落ちていない場合にフラッシング（点滅を繰り返す。）が発生します。	フレームアースなどで塗装面の上からアースをしている場合は塗装をはがすかバッテリーのマイナス端子へ直接アースしてください。アース不良によるフラッシングの場合に取り付け直後は問題なく作動しても、しばらくたってから発生する場合もありますのでフラッシングが起こった場合は必ず確認してください。またバッテリー端子以外の場所からアースする場合は必ずバッテリーマイナス端子との間の抵抗をテスターで測定し抵抗値０．５Ω以下の場所からアースを取るようにしてください。
	車両側ハーネス、スイッチの接点不良。	ヘッドライト電源がハンドルのスイッチハウジング経由でバルブカプラーに来ている場合、スイッチハウジング内の端子汚れなどの影響で入力電圧が正しく入力されない場合が極まれに起こります。ヘッドライトカプラーまで正常に電圧が来ていない場合は接点の状態も点検してください。

状態	原因	対応
メーターの時計などのリセット、イモビライザーなどの誤作動。	点灯時にノイズなどの影響を受けている。点灯の瞬間にシステム（特にイグナイター～H.I.D バルブ）には高電圧が掛かり同時にノイズを発生します。	イグナイターなどはメーターやECU、イモビライザーのユニットからは可能な限り距離を置いて取り付けてください。またノイズ遮断にはアルミテープなどによるシールドが有効ですので車両に応じて電子機器にアルミテープを巻くなどシールドをしてください。
	バッテリー電圧の降下。	H.I.D は特正上、点灯直後の数秒間は約 70～75W の電力を消費します。約１０秒後には 35W で安定します。点灯直後にセルを回すなどした場合、一時的に車体全体の電圧が大きく下がる場合があります。その際にメーターなどが一時的に「電源 OFF」の状態になり時計などがリセットされてしまう場合があります。バッテリー電圧を確認して充電を行うか新しいバッテリーに交換する必要があります。
HI／LO を切り替えた時に消灯してしまう。またはフラッシングする。	ハンドル側の切替スイッチなどの接点不良。	ヘッドライト電源がハンドルのスイッチハウジング経由でバルブカプラーに来ている場合、スイッチハウジング内の端子汚れなどの影響で入力電圧が正しく入力されない場合が極まれに起こります。ヘッドライトカプラーまで正常に電圧が来てない場合は接点の状態も点検してください。

●フラッシング（点滅を繰り返す）の原因について

点灯不良（フラッシング）はほとんどの場合、以下の２種類の原因になります。点灯異常が発生した際は、まず下記のことをご確認ください。

１．バッテリー容量・充電電圧と点灯のための電力の関係によるもの

H.I.D は点灯直後の数秒～数十秒の間、点灯及び放電の安定のために多くの電力を必要とします。※バルブが冷えている時と暖まっている時でも消費電力が違います。
点灯後の安定状態に入ると約３５W で安定します。（約５～１５秒後）点灯の際にバッテリー容量が少ないと点灯させることが出来ずに点きかけの蛍光灯のようになります。特にバッテリー容量の小さな車両に対して H.I.D を２灯装着した場合はバッテリー電圧のフラッシングに対する影響が非常に大きくでます。バッテリーの状態を常に点検してください。
またメインキーを ON にした時点でライトが点灯する車両の場合でも発電されていない状態（エンジンが始動していない。）と点灯初期の消費電力が重なりフラッシングを起こし易い状態となります。この時、**エンジンを始動するか始動後に回転を少し上げると正常に点灯するのであればシステムの故障ではありません。**車両の発電能力やバッテリー容量の影響によるものになります。予めご了承ください。

２．アース不良によるもの

インバーターから出ている黒いハーネスは原則として**バッテリーのマイナス端子に接続**してください。配線の長さなどによって接続が難しい場合はボディアースすることになりますが、その際はアースする場所とバッテリーマイナス端子もしくは純正ハーネスのアースラインとの抵抗値を測定し０．５Ω以下の場所にアース接続してください。またアース取り付け部分に塗装などの表面処理がされている場合は必ず表面処理をはがしてからアースを接続してください。この処理が不十分な場合は取り付け直後は問題が発生しなくても、しばらく経過してからフラッシングが発生する場合があります。ご注意ください。

●車両の電子機器への影響について

H.I.D は作動する際にノイズを発生します。特にイグナイター本体及びイグナイター～H.I.D バルブまでの間には２万ボルトの電圧を発生させるため最もノイズが大きくなります。そのため車両の電子機器が影響を受ける場合があります。

例・・・メーター内臓のデジタル時計、トリップメーターなどがリセットされる。

・・・ECU、インジェクションコントローラーの誤作動。

以上のような症状が発生する場合は**イグナイターの位置を、それら電子機器及びそれにつながるハーネスから出来るだけ離して設置し、車両側へは ECU などを⑪アルミテープで巻いてシールドする**などの対策を行ってください。

同一車種に同じ配置で取り付けた場合でも影響の出る車両と出ない車両があります。

また前項の消費電力との関連で「電圧降下」によって影響を受ける可能性もあります。H.I.D 点灯直後などの状態でセルを回すなどすると車両全体の電圧が一時的に極端に低くなり、これによって電子機器の動作に影響が出る場合があります。この場合はバッテリーを充電すると改善される可能性があります。車両によってはバッテリー容量と車両の電装の仕様などの関連でバッテリーを新品に交換する必要がある車両もあります。バッテリー容量などの影響についてはシステム故障ではありませんのでご了承ください。

点灯しないなどの異常の場合はトラブルシューティングの表及び上記アドバイスをもとに各部の確認を行ってください。それでも改善されない場合は取り付けを行った販売店などの専門の方の点検を受けるかお客様相談窓口までご相談ください。

オプション品

商品名	品番	本体価格（税抜）	備考
バッテリーダイレクトハーネス	62236	￥2,600	車種別専用ハーネスをバッテリーから直接電源を供給させ H.I.D の点灯をより安定させます。※１灯分。車種別フィッティングハーネスの代用にはなりません。

補修部品

商品名	品番	本体価格（税抜）	備考
H.I.D バルブ H7 単体 STD	64177	￥22,000	4300K（スタンダードタイプ）
H.I.D バルブ H7 単体 SPK	64175	￥27,000	6000K（スパークホワイトタイプ）
H.I.D バルブ H7 単体 SLK	64173	￥31,000	6700K（シルキーホワイトタイプ）
H7 用バルブアダプラー	38434	￥500	

東証JASDAQ上場
株式会社 デイトナ
〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで